

**平成30年度岡山市市民協働推進モデル事業
最終評価表**

実施団体	NPO 法人 ENNOVA OKAYAMA		
協働部署	庭園都市推進課		
記入日	2019年3月26日		

1. 事業の目標と結果

事業の目標 事業提案書に記載された「期待する事業成果・目標値等」または事業を通じて意識されていた目標を一枠に一項目ずつご記入ください。	目標に対する結果 「成果・目標値等」に対する結果をご記入ください。	結果の自己分析 「目標に対する結果」に至った要因や工夫されたこと、うまくいかなかったことなどをご記入ください。
「地域住民・観光客・イベント実施者」への石山公園のパークマネジメント、リニューアル事業、場のポテンシャルを生かした活用方法や観光・文化施設などのリアルタイムな情報、各種公園利用申請の情報発信	コツコツと情報発信を続けている。情報は自ら取りに行く。イベント情報は毎月200~300件程度を更新している。まとめサイトの存在を周辺施設から有難いと言われたこともあった。 再整備事業の状況変動に合わせて更新をしながら、変わっていくエリアであることについても発信できる範囲で情報提供を継続している。	情報提供を続けることでサイトへのアクセス数も増加している。今後も継続してコツコツと情報提供を続けていくことを大切にする。サイト情報が更新されていることが、サイトやエリアの信頼向上にもつながると思われる。 閲覧の結果、実際に現地に行ったかなど、後追い調査に関しても今後は可能な範囲で検討していきたい。
情報の発信と収集で得られた情報の絞り込み、よりニーズに合った内容、情報提供に有効なツール選択など情報発信（収集）環境のブラッシュアップ	9月のサイト立ち上げからアクセス情報の収集を続けている。分析の視点は多岐にわたるため現在精査中。 スマートフォンからのアクセスが多いため、スマートフォンで見た際のサイトの閲覧しやすさを意識していきたい。また、複数日にまたがるイベントの情報が目に入りやすいため、単日「その日」のイベント情報が目につきやすいように工夫が必要。 なお、サイト自体が検索エンジンの上方に表示されるようになってきた。	アクセス情報の分析により、岡山市以外の都市からの閲覧も多く、海外からのアクセスもある状況が明らかになり、関心の高さがうかがえた。小さなエリアであるものの、多くの人や場所がさまざまな取組を行っているを知ってもらうことがまずは大切なことだと考えている。今後も継続して情報を更新していく。 今後は閲覧者の使い勝手も含めてサイト運営について考えていきたい。 検索エンジンに対する工夫は引き続き行っていきたい。
石山公園の事例が市内他の公園利用について考えるきっかけとなり、周辺エリアの施設や地域との連携をさらに深める	市内の他エリアでの動きについて、状況はある程度把握しているものの、そこに携わる方々と情報交換ができる機会は現状では少ない。 担当課としては、あるエリアで培われたスキームを別のエリアに活かすことは試みており、その点の連動はできている。	それぞれの活動が多忙であることもあり、各々リスペクトはしているものの積極的に自身の取り組み場について話す機会が持ていない。エリアマネジメントに関する勉強会など、このような活動に携わる人々が一堂に会する機会があるとその場で情報交換もできる。

2. 協働の基本原則に基づくチェックリスト

協働の原則	チェック(できたものに☑)	指標(※指標の番号が大きくなるほど協働が進んでいる状態を表します。)
相互理解の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を明文化した
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署がそれぞれの役割を果たした
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体のミッションを理解していた(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 岡山市(協働部署)の方針や計画を理解していた(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署のそれぞれの強みが発揮され、弱みが補われていた
目的共有の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が事業のスケジュールを把握していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体と協働部署の双方の合意によって事業目標が決定されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 実施団体と協働部署が事業の成果・課題を定期的に共有していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況を共有していた
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 実施団体と協働部署が理想とする社会状況と現状とのギャップを共有していた
対等の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 双方の合意によって役割分担が図られていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 実施団体の意思・意見が尊重されていた(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 協働部署の意思・意見が尊重されていた(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 実施団体のみに役割や責任が集中していなかった(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 協働部署のみに役割や責任が集中していなかった(協働部署が回答)
自主性及び自立性尊重の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署が積極的に意思表示をしていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業またはその他の意思決定において実施団体に不当に干渉されなかった(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 事業またはその他の意思決定において協働部署に不当に干渉されなかった(実施団体が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業またはその他の意思決定において実施団体に依存されなかった(協働部署が回答)
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業またはその他の意思決定において協働部署に依存されなかった(実施団体が回答)
公開の原則	<input checked="" type="checkbox"/>	① 実施団体と協働部署間で事業の進捗状況や予算の執行状況が随時共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 議事録やイベントごとの報告書が作成され、実施団体と協働部署で共有されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 必要に応じて実施団体と協働部署以外の第三者の助言を仰いでいた
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 事業の案内が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 事業の結果が実施団体のウェブサイト等で随時発信されていた